

第3回ODA政策協議会

議題と論点

議題（イ）

「国益優先」のODAの問題

＜対応 → 経協政、経協計＞

● 議題の趣旨：

ODA を「国益」の道具とする動きが大綱改定以来進められているが、その結果、日本の ODA に対するイメージの低下を招き、日本の「ソフトパワー」を減じさせているのではないかと危惧する。この点について議論したい。

（注：ODA が政治利用され、結果として効果的な ODA が実施されていない。これが日本と当該諸国との友好関係を損なっているというのが NGO 側の認識とのこと。）

【ODA 改革ネットワーク・東京】

議題（ロ）

今後のODA政策・企画・実施体制におけるNGO、現地市民社会との関わり

＜対応 → 経協政、経協民＞

● 議題の趣旨：

政府は ODA 政策の企画立案・実施体制について一元化を進める方針をかためた。一元化の議論の過程で、外務省は『ODA の点検と改善』や『戦略目標』などの政策文書を作成し、今後の ODA 政策の具体的手法を示した。

これまでに行なわれた ODA 政策に関する議論、たとえば「ODA 大綱」「ODA 中期政策」の決定過程では、NGO との対話、公聴会などある程度市民に開かれた議論の場が設けられたが、今回の一元化の議論には市民参加の機会が確保されなかった。

今後、ODA の政策決定過程や実施過程における市民社会との対話を、日本および ODA 受け入れ国でどのように行うべきかを議論したい。

（１）「ODA の司令塔」として設置が予想される「海外経済協力会議」における公開性、透明性、市民参加の確保について。

（２）戦略性、効率性を重視する ODA の実施過程における公開性、透明性、市民参加の確保について。

【名古屋 NGO センター、福岡 NPO ネットワーク】

議題（ハ）

TICADプロセスへのアフリカや日本のNGO、市民社会の参加

＜対応 → アフリカ二課＞

● 議題の趣旨：

アフリカの平和、開発においては市民社会の役割は大きく、TICADのプロセスに日本・アフリカの市民社会が正式なパートナーとして参加することが、極めて重要である。TICAD市民フォーラムは、TICADの最重要メンバーである日本政府が、この点を理解し、他の共催者にも働きかけるべきと考えており、この点について意見交換を行いたい。

（１）TICADⅣに向けた準備委員会の公開性、透明性、市民参加の確保について

（２）長期的にみたTICADの共催者改組について

【TICAD市民社会フォーラム（石田・高瀬）】

議題（二）

人権問題のある国への援助のあり方と人間の安全保障

＜対応 → 経協計、経協国一、有償、無償、亜西、亜東一、国人、国人支＞

● 議題の趣旨：

社会権や市民的・政治的権利が守られていない社会では、貧困層は脆弱な状況となり「人間の安全保障」が守られない。こうした状況を分析するための手法や、状況を改善するための長期的な支援のあり方、そして短期的に人権状況が悪化した場合の援助政策のあり方について最近のネパールとカンボジアを例に議論したい。

（了）